

レジデンストーキョー
（東京都渋谷区）
野坂幸司社長（48）

マンスリーをグループホームに転用

事業運営も新たに開始



管理するマンスリーマンションを障がい者向けグループホームに用途変更し、3月16日に開設した。

入居者募集だけでなく入居者のケアも同社で行い、新たにグループホ

ームの運営事業を開拓してい

く。今回、グループホ

ームに転用した物件は、

京浜急行電鉄本線「大森

町」駅から徒歩3分

の場所に立地する

「アーリッシュハ

ウス大森町1・2」。

2020年に完成し

た築浅の5階建てR

C造。

グループホームに

転用するため、約3

00万円をかけて改

修を行った。14室あ

る。今後は「STAGE」

申込みや

進捗（しん

ちょく）管

理ができる

アプリ「S

テージュ」

での入力だけで申し込

みを完結できる。やり

た。手軽に実施できる

ようだし、かつやりと

りをスマートにするの

ができる。

以前はユーザーが同

じで、機能を拡張する計

画だ。

3月時点での取引会

の申込みから実施までアプリで完結

り、各部屋にはベッド、

トイレのほか棚、テレビ

・冷蔵庫、洗濯機、ア

イロン、掃除機などの家

具・家電も完備。野坂幸

司社長は「家具・家電

相談支援施設や病院への

アプローチを中心に行

っていった経験者もいる。

グループホームは都心部では

珍しい」と語る。

今回、事業運営を開始

するあたり、新たに7

人のスタッフを採用。そ

の中には、グループホ

ームの運営事業を運営す

る上層階の窓は転落防止

用のガードを設置した。

もともとマンスリーマン

ションだったこともあ

り、現在、3人の入居が

決定している。「今後も

マントリーを転用し、障

がい者が自由に生活でき

る場所を提供していく」

（野坂社長）

のさまざまな料理を提

供。アレンジがある利用

者への対応も可能だ。

「2人とも面倒見がよ

く、入居者の相談によ

り乗せており、安心感が

あると好評。学生の入居

者が退去する際には、そ

の両親からお礼のあいさ

つを頂くことが多い」と

奥山秀昭社長は語る。

応入居立ち会いを担当。

寮母は食事の運営を担当

している食堂のメニュー

は日替わりで、和洋中

いメンテナンス、不具合対

応入居立ち会いを担当。

寮母は食事の運営を担当

理由だ。寮父は館内清掃

のさまざまなお仕事も担当。

応入居立ち会いを担当。

寮母は食事の運営を担当

理由だ。寮父は館内清掃

</div